

第9回ソーシャルイベント研究会 レポート

- 日 時 平成26年5月21日(水) 16:00~17:45
ネットワークパーティ 18:00~20:30
- 会 場 日本イベント産業振興協会 会議室

■内 容

- ・ ネタメッセプレゼン (16:00~16:25)
根本正 加藤淑子 澤内隆
- ・ イベント見本市 (16:25~17:25)
プレゼンター: 上代圭子 (東京国際大学)
「スポーツビジネスの将来展望」
- ・ 情報交換 ・ その他
- ・ ネットワークパーティ



[出席者] 21 名

座長: 小林政則 (イベント支援ネットワーク)

荒川毅 (TSP 太陽)、石井崇 (ミドルウッド)、飯塚俊哉 (東急エージェンシープロミックス)

内田なお子 (昭栄プリント)、大根田利夫 (ダーツ)、沖佳保里 (コブタカンパニー)

加藤淑子 (エンコーポレーション)、小林勝海 (漫画学会)

斎藤裕 (近畿日本ツーリスト)、佐藤政廣 (関東化染工業所)

澤内隆 (六本木探検隊/エデュテイメントコーディネーター)、上代圭子 (東京国際大学)

田中佐衣子 (日本ラベル)、田中滋 (DEN&A Inc)、根本正 (シグナス)

宮地克昌 (東京観光専門学校)

(オブザーバー)

加藤信 (フォロー整体院)、中尾文宏 (角川アスキー総合研究所)

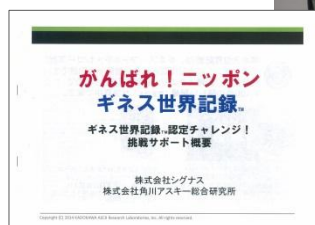
(事務局) 小西功一、菊地浩之

■ネタメッセプレゼン (1人5分)

1) 根本正 (シグナス)

「がんばれ! ニッポン「ギネス世界記録挑戦」企画」

ギネス世界記録への挑戦を通じて、地域や商品の効果的なPRが可能で、さらに社内の教育や研修活動の目的としても活用できるプロモーションプランを紹介。根本会員のビジネスパートナーである角川アスキー総合研究所の中尾氏より、ギネスブックへの掲載をめざすイベントプロモーションの具体的な内容や申請から取得までのサポート体制、費用の概算などの説明を行った。



2) 加藤淑子（エンコーポレーション）

「出張整体をはじめました」

加藤会員のエンコーポレーションと、実弟で整体院を経営する加藤信さんとのタイアップ事業としてスタートした「出張整体」を提案。平日は仕事で土日しか整体院を利用できないビジネスマンをターゲットに、企業やイベント会場で施術を行うサービスプランを提案した。
（フォロー整体院 <http://follow-seitai.net/>）



3) 澤内隆（六本木探検隊/エデュテイメントコーディネーター）

「学ぶ×遊ぶ体験学習ツアー」

今年で7年目を迎えた、澤内会員がインストラクターを務める夏休みのバスツアーを紹介。名門中学を目指す小学生が親子で参加する、社会科見学ツアーの内容を説明。国会議事堂、貨幣博物館、東証アローズなどをはとバスで巡り、受験に役立つ知識を現地を訪れながらリアルに学ぶ教育イベントを紹介した。



■イベント見本市

「スポーツビジネスの将来展望」

上代圭子（東京国際大学）

（概要）

スポーツビジネスと言えば、2020年の東京オリンピック・パラリンピックが頭に浮かぶが、視点を市民レベルに置き変えると、余暇市場全体の中ではスポーツが占める割合は高いとは言い難い。生涯スポーツをビジネスの視点で見たときの、現状や課題、具体的な効果やキーマン、これからの展望などの解説。

（内容）

——前段／スポーツビジネスの注目はアジア

先日、2002年のFIFAワールドカップ運営関係者の同窓会に参加したが、この会合の中で「これからのスポーツビジネスはアジアだ」との話題になった。大手広告代理店はアジアでのスポーツビジネスへの参入を視野に、スポンサー集めに積極的に動いている。Jリーグを見ても、放映権料の獲得を視野にアジア枠の選手採用を進めている。プロスポーツの分野ではアジアに市場への期待が高まっているが、その話題の解説については改めて専門家を紹介したい。



「スポーツビジネスの将来展望」というタイトルを聞くと、オリンピックやワールドカップなどのビッグイベントを連想するが、本日はソーシャルイベント研究会での発表であることを踏まえ、市民に身近な生涯スポーツを中心に話をしたい。

これからのスポーツビジネス

●スポーツ用品市場を牽引する女性と高齢者

余暇市場全体の中で、スポーツの位置付けは非常に小さく、娯楽や観光を中心に市場を構成している。スポーツ用品市場を見ても1兆円規模に過ぎない。

ここ数年、マラソンブームが続きマラソン市場におけるスポーツ用品が好調である。この市場は、主に女性と高齢者が市場を牽引している。膝をサポートする高価なスパッツが売れているが、金銭的に余裕のある人達が楽で快適に走るために消費する傾向が強い。

●活況な生涯スポーツイベント

生涯スポーツイベントが参加者にもたらすもの

- ① 再社会化／主婦、定年退職者がスポーツをきっかけに再び社会との接点を持つ。
- ② 仲間や地域との交流ができる。
- ③ 地域への気づき。名所旧跡を知る。町の良さと同時にマイナス面も知ることができる。
- ④ 健康行動への意識付け。ライフスタイルの改善。
- ⑤ スポーツ活動へのきっかけと習慣化。

生涯スポーツイベントが地域にもたらすもの

〔社会的効果〕

- ・ 地元企業の盛り上げ
- ・ 国際交流
- ・ 地域内連携強化
- ・ 人材の育成

〔経済的効果〕

- ・ 宿泊
- ・ 交通

マラソンイベント誘致の課題

- ・ 誘致して人を集めても必ずしも参加者が現地でお金を落とす保証はない。各地での乱立（年間数千件）し、大会によっては参加者の確保にも努力が必要な状況。期待通りの経済効果が得られないケースも少なくない。

改善策 → ウォーキング部門の併設による高齢者や初心者の取り込む大会が拡大

●シニア世代のスポーツの状況

データによると世の中の3/4の人は何らかの形でスポーツをしている。（週1回／6割）10代男性よりも60代男性の方がスポーツをする機会が多い。生涯スポーツ市場の主要ターゲットも高齢者と女性。厚生労働省の基準では「庭いじり」もスポーツにカテゴライズされている。

シニア層のスポーツ

1位) ウォーキング・散歩 2位) 体操 3位) ゴルフ

高齢者のスポーツ参加によって、スポーツの概念が変化している。シニア層は自分の満足に対してお金を支払うため、長期滞在型スポーツリゾートや健康カリキュラムを盛り込んだクルーズツアーなど、付



加価値の高いスポーツビジネスにおける必要なキーマンに。

マスターズスポーツ

マスターズ甲子園の参加者増加による経済効果が拡大。(映画化の決定／ユニフォーム、用具代、地方予選、甲子園への交通＋宿泊費)

女性のスポーツ市場の可能性

女性(22～34歳)の月額の小遣いは5万円～8万円未満が最も多い。中年男性と比較すると女性の方が自由に使えるお金が多く、独身女性についてはこの額がさらに高くなる。現在最も多く消費されているのは美容費だが、もっとスポーツに支出する可能性があるのも女性と考えられる。新たにスポーツにチャレンジする層を獲得することで、ファッショナブルなウェアの購入、ランステの利用等スポーツビジネスへの支出拡大が期待できる。

キーワード エステスポーツで痩せる、美しくなる発想
子供と一緒にスポーツ(ママさんフットサル)

最後に：女性のスポーツに関する現状

女子サッカーのなでしこジャパンが注目されているが、北京五輪の代表メンバーはレギュラークラスで2～3人辞めている。その理由は、結婚、出産、主婦業等。女性がスポーツを継続できる環境を整備しないと、日本の現状では優秀な選手が競技を続けることができない。ヨーロッパ社会ではこうした現状が理解できない程、社会の支援や市民の意識が進んでいることを改めて考えることが必要だと感じている。

■まとめ (小林座長)

この研究会では、メンバーの皆さんに登録していただいているネタをまとめ、「勝手にプロポーザル」の形でこれまでいくつかの地域や施設に企画の提案を行ってきた。昨今、全国の自治体では、わが町の魅力づくりと情報発信が課題となり、シティープロモーションの公募が盛んに行われている。こうした動きを見据えて、この研究会の中に公募にチャレンジするチームを編成していきたいと思う。個人会員の皆さんには積極的にご参加いただき。また法人会員の皆さんには、我々の活動をぜひビジネスに取り入れる働きかけをお願いしたい。

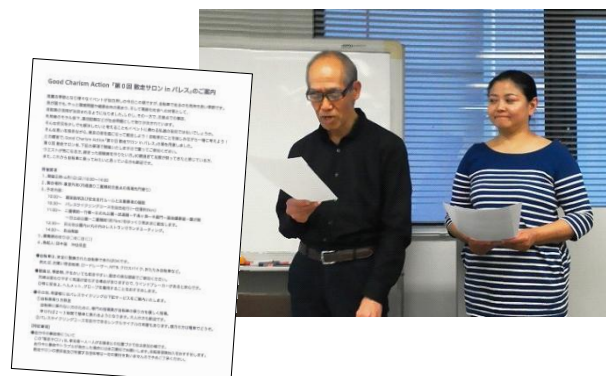
具体的なチーム編成、活動内容については、皆さんの意見をうかがいながら、次回の研究会で私から提案をする予定。メンバーの皆さんには、ご意見、ご要望やアドバイスをいただきたいと考えている。

■情報交換

沖佳保里(コブタカンパニー)、田中滋(DEN&A Inc)

「第0回 散走サロン in パレス」

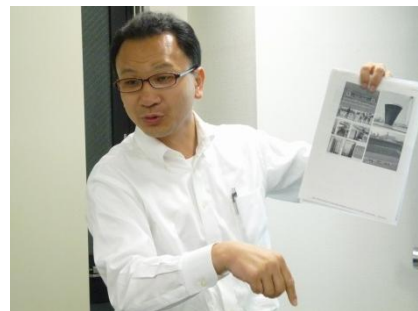
6月1日(日)に計画したサイクリングイベントを提案。皇居前のパレスサイクリングコースや皇居周辺を走りながら、自転車の安全走行やマナーについて学ぶ、イベント学会の「部活」の立ち上げ報告と、参加者を募集。



荒川毅（TSP 太陽）

「国立競技場スタジアムツアー」

まもなく解体が始まる国立競技場の見学ツアーを紹介。翌日、5月22日（木）がラストチャンスになることを説明。



ネットワークパーティ

会議室にて 18:00 より実施 参加費 1000 円



交流会では、参加者の整体のデモンストレーションをしていただいた加藤信さん。ありがとうございました。

★次回、第10回ソーシャルイベント研究会

6月19日（木）16:00～17:45 日本イベント産業振興協会会議室にて開催予定